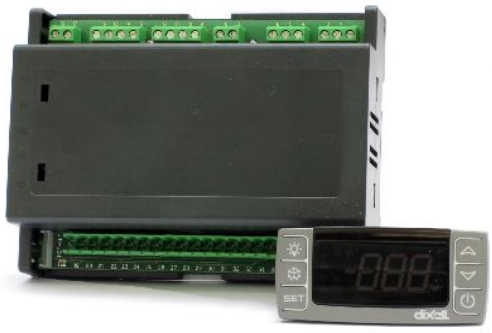
EMERSON
Climate Technologies



ショーケース/冷凍装置コントローラ

XM679K

（送風機・圧縮機・除霜・6センサ制御）
（パルス式電子膨張弁制御）

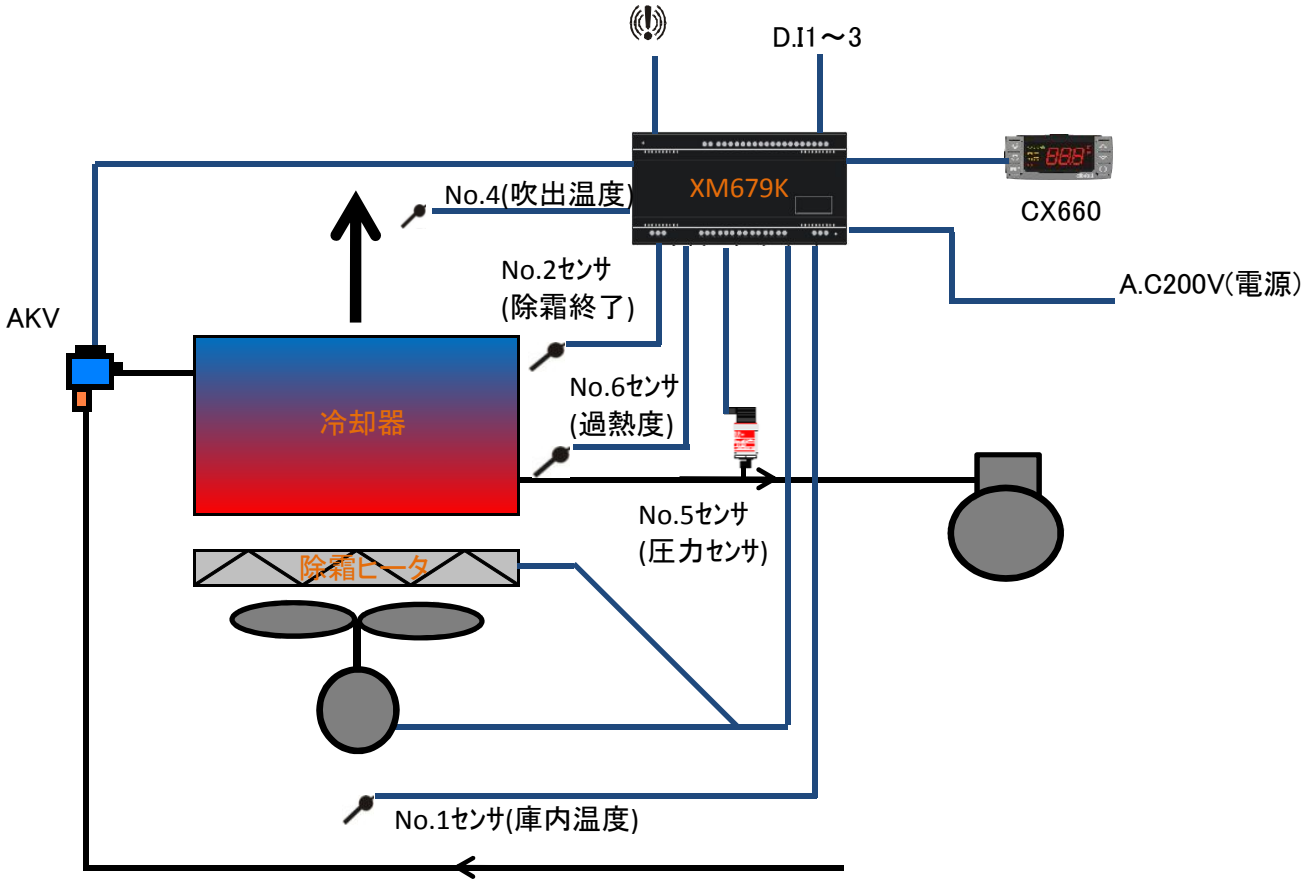
取扱説明書

dixell

1. コントローラの概要

XM679Kは、中低温冷凍冷蔵装置及びショーケースの制御に最適なコントローラです。
電子膨張弁、冷却器送風機、除霜(ヒータデフロスト又は、ホットガスデフロスト)、照明、警報、補助リレー制御をこの一つのコントローラにて制御が可能です。
電子膨張弁はパルス式のバルブを選定する必要があります。
コントローラは最大温度センサ(NTC型、PTC型又は、PT1000型)を5入力まで接続でき、
設定した二つの温度センサの温度差による除霜制御(ﾃﾞﾏﾝﾄﾞﾃﾞﾌﾛｽﾄ)が行え省エネなシステムを構築できます。
No.1センサを温度制御用に、No.2･3センサを蒸発器に取付けて除霜終了温度に使います。
No.4のセンサは、冷却器吹出温度に用い送風機制御を行います。
No.6のセンサは冷媒の過熱度を計測し、No.5のセンサは冷媒の蒸発圧力を計測します。
コントローラは外部入力を3カ所用意されており、遠隔発停、異常入力、扉管理、除霜開始などの外部操作が可能です。
コントローラ設定のコピーは、ホットキーをホットキー端子へ接続することで行えます。
コントローラの各設定は表示器両側のボタンを押して簡単に行えます。

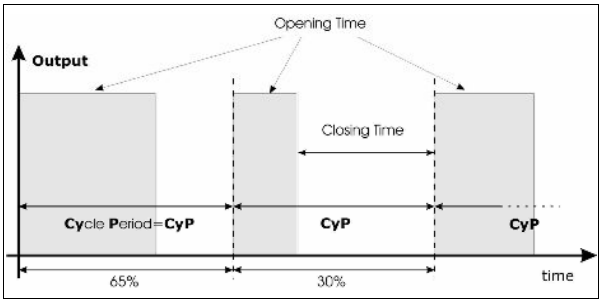
2. 制御の説明



(温度制御)
温度制御はセンサAとセンサBをNO.1～6から選び、rPEパラメータで割合を決定します。
No.1センサのみを庫内温度とする場合
rPA=1、rPb=0、rPE=100と設定します。
No.1センサとNo.2センサでNo.2センサの割合を80%を制御温度とする場合
rPA=1、rPb=2、rPE=80と設定します。

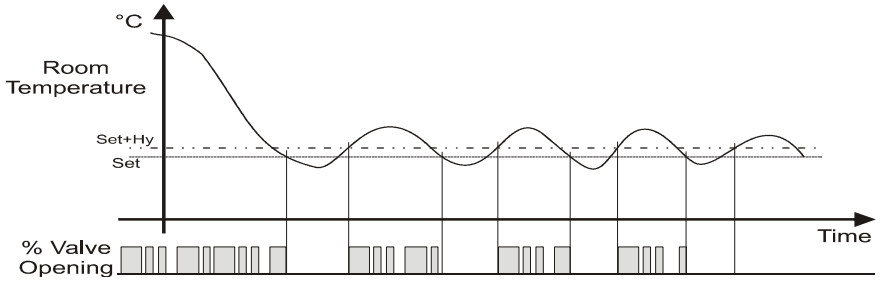
(電子膨張弁の制御)
2種類の制御があり、標準制御は常に適正な過熱度を保つ制御でON/OFF制御を行います。
ﾓｼﾞｭﾚｰﾃｨﾝｸﾞ制御は制御温度を一定になるよう制御を行うため圧縮機は継続して運転を行います。
この場合圧縮機側もインバーター等による容量制御が行える場合より一層温度が安定する制御が行えます。

制御はPI制御で行われ、バルブの開度を変更します。
バルブの開度は、右図のようにCyP(ｻｲｸﾙﾋﾟﾘｵﾄﾞ)時間に対しての平均バルブオープン時間で計算されます。

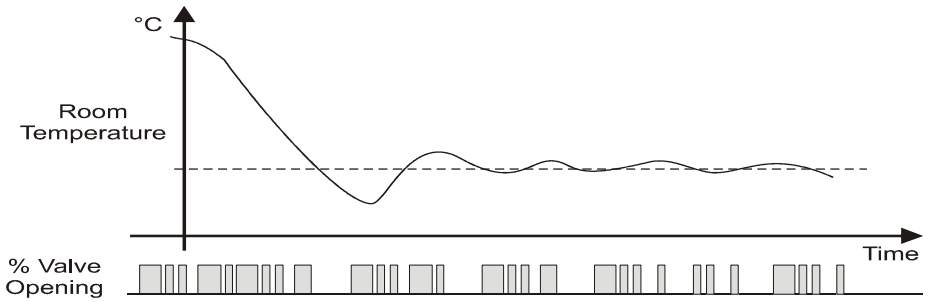


バルブ開度%で意味するところは、弁が開いているサイクル時間です。例えば、CyP=6s の場合、「バルブ開度が50%というのは、サイクルピリオド6秒の半分、つまり3秒間開いいているという意味です。」

標準制御　CrE=n
庫内温度は設定温度SET+設定温度差Hyの範囲で制御されON/OFFを繰り返します。
常に最適な過熱度で運転されます。
この制御の場合intは無視されます。



モジュレーティング制御　CrE=Y
庫内温度は設定温度SETを常に保つよう制御されます。
SET庫内温度～Hy庫内温度差内に庫内温度が到達している場合
電子膨張弁のPI制御の積分時間はintにて制御されます。
積分時間の値は増加するとPI制御が遅くなります。
この場合Hyは少なくとも5.0℃以上に設定願います。



3. コントローラの配線および設定

1.複数台冷却器同時除霜制御(ｼﾝｸﾛﾅｲｽﾞﾄﾞﾃﾞﾌﾛｽﾄ)

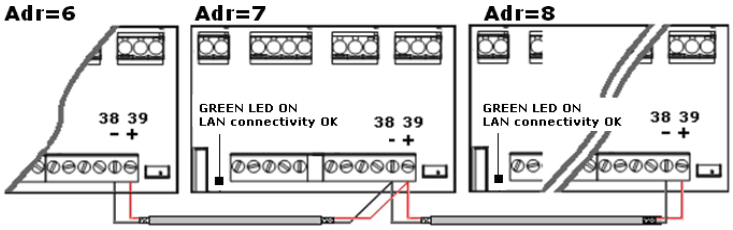
a.最大8台まで制御が可能です。

b.ｼｰﾙﾄﾞｹｰﾌﾞﾙをLAN端子38(−)、39(+)に下記の要領で接続してください。

c.Adrﾊﾟﾗﾒｰﾀにて各コントローラを特定できるよう設定願います。

この場合のAdr設定値はXWEBﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑのｱﾄﾞﾚｽ番号にもなります。

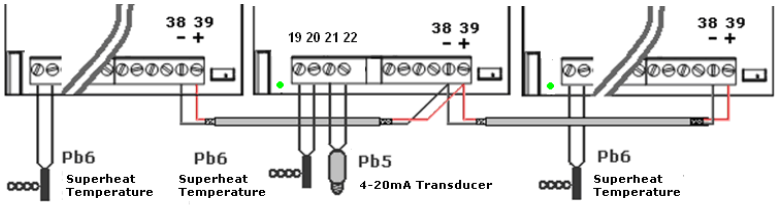
従って、設定値が重複した場合は正しく制御が行われません。



LAN接続が適切な場合、緑色のLEDが点灯します。点滅する場合は接続が適正ではありません。

再度、接続の確認をお願いします。

2.一つの冷媒系統に複数台の冷却器を設置し(ﾏﾙﾁｼｽﾃﾑ)、圧力ｾﾝｻを一つだけとする場合。



a.ｼﾝｸﾛﾅｲｽﾞﾄﾞﾃﾞﾌﾛｽﾄと同様にLAN配線を行います。

b.ﾏｽﾀｰｺﾝﾄﾛｰﾗに圧力ｾﾝｻを接続します。

c.P5CﾊﾟﾗﾒｰﾀでｽﾚｰﾌﾞｺﾝﾄﾛｰﾗはLANを設定、ﾏｽﾀｰｺﾝﾄﾛｰﾗは使用するｾﾝｻを設定してください。

(確認方法)

dPP=感知圧力の表示(ﾏｽﾀｰｺﾝﾄﾛｰﾗのみ)

dp5=感知圧力の温度表示

rPP=他ｺﾝﾄﾛｰﾗより入力された圧力の表示(ｽﾚｰﾌﾞｺﾝﾄﾛｰﾗのみ)

dp6=過熱度ｾﾝｻ温度の表示

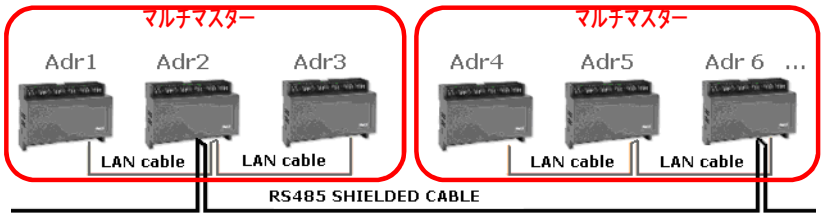
SH=過熱度の表示

(ｴﾗｰ表示)

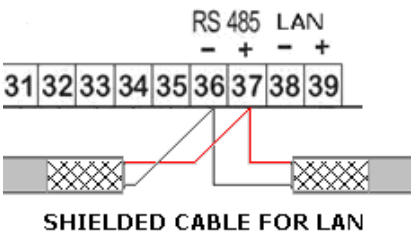
dPP=Err　圧力ｾﾝｻ感知範囲対象外、P5Cの設定が不適切、ｾﾝｻ故障

rPF=Err　LANより圧力入力なし

3.XWEBﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑの配線接続方法



RS−485通信ケーブルはﾏｽﾀｰｺﾝﾄﾛｰﾗのみ接続します。



1)端子36(−)と37(+)に接続します。

2)2芯シールドケーブルを使用してください。

3)配線最大長さは1Kmまで可能です。

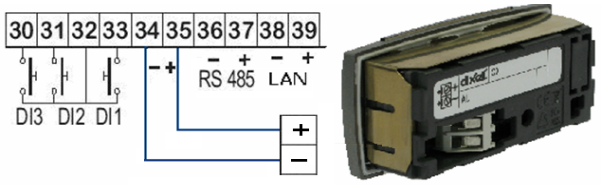
4)シールドを装置のアースや接地端子に
　接続しないでください。

・ｼﾝｸﾛﾅｲｽﾞﾄﾞﾃﾞﾌﾛｽﾄを行うための設定例

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ		ｺﾝﾄﾛｰﾗA(RTC)	ｺﾝﾄﾛｰﾗB(RTC)	ｺﾝﾄﾛｰﾗC(RTC)	ｺﾝﾄﾛｰﾗD(RTC)
ﾏｽﾀｰ/ｽﾚｰﾌﾞ		ｽﾚｰﾌﾞ	ﾏｽﾀｰ	ｽﾚｰﾌﾞ	ｽﾚｰﾌﾞ
Adr	ｱﾄﾞﾚｽ	n	n+1	n+2	n+3
EdF	除霜開始方法rtc/in	rtc	rtc	rtc	rtc
IdF	除霜周期	9時間	9時間	9時間	9時間
MdF	最大除霜時間	45分	45分	45分	45分
dtE	除霜終了温度	25℃	25℃	25℃	25℃
LMd	除霜開始同調	Y	Y	Y	Y
dEM	除霜終了同調	Y	Y	Y	Y
LSP	設定温度同調	Y	Y	Y	Y
LdS	温度表示同調	Y	Y	Y	Y
LOF	on/off同調	Y	Y	Y	Y
LLi	照明出力同調	Y	Y	Y	Y
LAU	AUX出力同調	Y	Y	Y	Y
LES	ﾅｲﾄﾀｲﾑ制御同調	Y	Y	Y	Y
LSd	遠隔ｾﾝｻ表示	n	n	n	n
LPP	圧力の出力	n	Y	n	n
StM	圧縮機ﾘﾚｰ出力同調	Y	Y	Y	Y
Ld1	除霜開始時刻	6:00	6:00	6:00	6:00
Ld2	除霜開始時刻	14:00	14:00	14:00	14:00
Ld3	除霜開始時刻	22:00	22:00	22:00	22:00

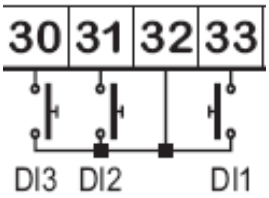
・EdF=rtc CPb=nの設定は禁止です。
・Ld1とLd2とLd3の時間の間隔は8時間の場合、IdFはRTC故障時の安全のため
+1時間足して9時間と設定してください。
・dEMをYにすることにより、全てのｺﾝﾄﾛｰﾗの除霜が終了後冷却を開始します。

4.ディスプレイCX660配線方法



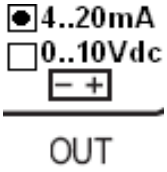
1)端子34(−)と35(+)に接続します。
2)2芯シールドケーブルを使用してください。

5.デジタル入力の配線方法



1)端子30～33はすべて無電圧にて入力してください。
2)1m以上の距離がある場合2芯シールドケーブルを使用してください。

6.アナログ出力



1)4～20mA又は、0～10Vdcの選択が可能です。
2)接続は専用ｹｰﾌﾞﾙCABCJ15を使用してください。

7.デジタル入力について

i1F・i2F・i3Fﾊﾟﾗﾒｰﾀの設定により、機能を選択できます。

・EAL　一般警報

入力後did設定時間遅延後に発報、ディスプレイにEALを表示します。

・BAL　重大警報

入力後did設定時間遅延後に発報、ディスプレイにBALを表示します。
全ての制御は停止されます。

・PAL　圧力異常警報

didにて設定された時間内にnPSﾊﾟﾗﾒｰﾀの設定回数入力があった場合
圧力異常警報を発報します。ディスプレイはCAを表示します。
全ての制御は停止されます。
この場合、電源を一度入れ直すことにより復旧します。

・dor　扉開閉入力

扉開閉入力により各ﾊﾟﾗﾒｰﾀの設定により圧縮機停止、送風機停止の機能が
選択できます。
入力後did設定時間遅延後に発報、ディスプレイにdAを表示します。
全ての制御は停止されます。rrd時間時間後制御を再開します。
扉開信号入力時は高温、低温異常は無効となります。

・DEF　除霜開始

入力により除霜を開始します。
入力が継続している場合も最大除霜時間経過後通常運転を開始します。

・AUS　補助リレー出力

入力により、AUX補助リレーをON/OFFします。

・LIG　照明リレー出力

入力により、照明リレーをON/OFFします。

・onF　コントローラのON/OFF

入力により、コントローラをOFFにします。

・HTR　制御の切り替え

入力により、冷却制御から加熱制御に切り替わります。

・FHU　未使用

・ES　ナイトモード運転

入力により、設定温度をSET+HESに変更します。

・HDY　休日制御

入力により休日の設定制御を行います。

・入力の極性

CL=A接点　入力により制御開始
OP=B接点　入力なしで制御開始

8.除霜について

・除霜開始

EdF=rtc/in

rtcのとき設定時刻にて除霜を行います。時刻はLd1,Ld2…Sd5,Sd6
rtc設定時はCbP=1にする必要があります。

inのとき周期にて除霜開始します。
idFにて除霜周期を設定してください。

2つの冷却器内設置温度センサの温度差での除霜開始

dPA(除霜センサA)、dPb(除霜センサB)を設定します。
dtP(温度差) dPA−dPb≦dtPがddP時間継続で除霜開始
ddP=0でこの機能は無効となります。

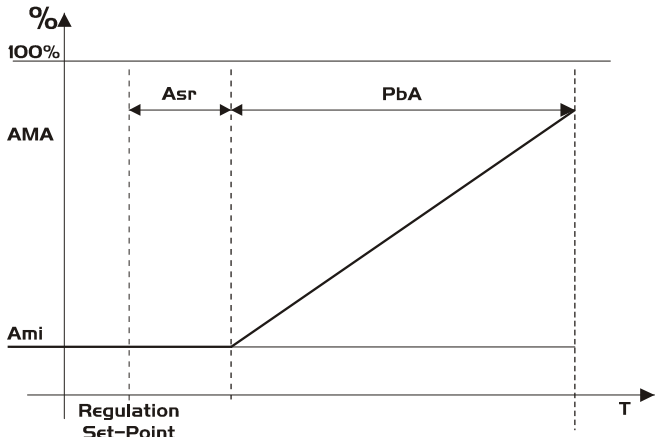
・除霜終了

2つの除霜センサで除霜終了制御を行う場合
d2P=Yで設定されます。
この場合、除霜センサA dPAの温度が≧dtE設定温度
除霜センサB　dPb≧dtSの2つの条件にて除霜終了します。

9.アナログ出力の使い方

1.アナログ出力で送風機制御を行う場合(trA=rEG)

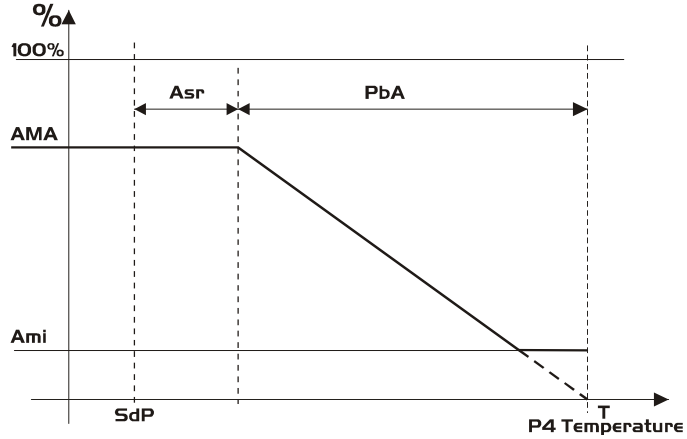
AMt　設定時間は運転開始後最大出力を行います。
AMi　最低出力値(%)
AMA　最高出力値(%)
ASr　庫内温度が(庫内設定温度+ASr)以内の時、AMiの出力を行います。
PbA　庫内温度が(庫内設定温度+ASr)以上の時、(庫内設定温度+Asr+Pb)を最大として比例制御出力を行います。



2.アナログ出力で防露ヒータ制御を行う場合(trA=AC)

P4センサ(ｼｮｰｹｰｽｶﾞﾗｽ面取付)にて制御を行います。

SdP　露点温度(XWEB5000接続時は自動上書きされます。)
AMt　設定時間は運転開始後最大出力を行います。
AMi　最低出力値(%)
AMA　最高出力値(%)
ASr　オフセット値
PbA　庫内温度が(庫内設定温度+ASr)以上の時、(庫内設定温度+Asr+Pb)を最小として比例制御出力を行います。



ﾊﾟﾗﾒｰﾀ		ｺﾝﾄﾛｰﾗA(ｽﾚｰﾌﾞ)	ｺﾝﾄﾛｰﾗB(ﾏｽﾀｰ)	ｺﾝﾄﾛｰﾗC(ｽﾚｰﾌﾞ)
Adr	ｱﾄﾞﾚｽ	n	n+1	n+2
LPP	LAN経由圧力ｾﾝｻ	n	Y	n
trA	出力ﾀｲﾌﾟ	4～20mAがある場合　AC		
OA6	最大除霜時間	AUXﾘﾚｰで制御する場合　AC		

P4ｾﾝｻなし、もしくはP4ｾﾝｻｴﾗｰの場合

制御はAUXリレーのon/offを行います。
on:AMA%出力をAMt時間出力
off:(255-Amt)時間出力なし

3.アナログ出力手動設定(trA=UAL)

SOAの値で出力します。

4. ディスプレイについて

SET　設定温度の表示及び
パラメータの選定、操作の確定に使用します。

手動除霜の開始

パラメータの設定値の変更に使用します。

パラメータの設定値の変更に使用します。

コントローラの制御開始、停止に使用します。
(3秒押し)

照明のスイッチに使用します。

＋　キーボードのロック、アンロック

SET＋　設定モード

SET＋　通常表示に戻る

1秒押しでAUX出力及び停止

(LEDの表示について)

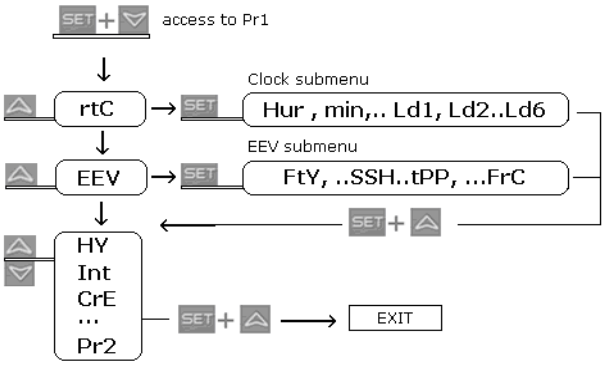
LED		
	点灯	圧縮機運転/電磁弁開
	点滅	最低運転(停止)時間中
	点灯	除霜中
	点滅	水切運転中
	点灯	送風機運転
	点滅	除霜後の送風機遅延時間中、扉開
	点灯	警報発報中
	点灯	ナイトタイム制御中
	点灯	照明点灯
AUX	点灯	補助リレーon
C/°F/Bar/PSI	点灯	温度の単位
C/°F/Bar/PSI	点滅	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ中
	点灯	ﾏﾙﾁﾏｽﾀｰ　ALLを選択
	点滅	ﾏﾙﾁﾏｽﾀｰ　1つのｺﾝﾄﾛｰﾗを選択
	点滅	ｸﾛｯｸ調整中

(センサ温度確認方法)
　下記の方法で各センサ類が確認できます。

（1秒押す）→ or → SET

HM	:	rtcメニュー又はRTC異常リセット
An	:	4～20mA又は0～10V出力値
SH	:	過熱度
oPP	:	電子膨張弁開度
dP1	:	No.1センサ温度
dP2	:	No.2センサ温度
dP3	:	No.3センサ温度
dP4	:	No.4センサ温度
dP5	:	No.5センサ温度、又は圧力値
dP6	:	No.6センサ温度
dPP	:	No.5センサ温度、又は圧力値(ﾏｽﾀｰのみ)
rPP	:	LAN経由の圧力(ｽﾚｰﾌﾞのみ)
L°t	:	最低庫内温度(表示された状態でSETを3秒押しでﾘｾｯﾄ)
H°t	:	最高庫内温度(表示された状態でSETを3秒押しでﾘｾｯﾄ)
dPr	:	rPEにて設定された温度(庫内センサ温度)
dPd	:	dPEにて設定された温度(除霜センサ温度)
dPF	:	FPEにて設定された温度(送風機センサ温度)
rSE	:	現在の設定温度

5. 操作ガイド

各設定	操作手順
設定温度の確認	SET（1秒押す） → 設定温度表示 → SET（1秒押す） （5秒経過でも通常表示）
設定温度の変更	SET（3秒押す） → 設定温度表示 ℃点滅 → ▲ or ▼ → SET（1秒押す） （10秒経過でも通常表示）
手動デフロスト開始	❄（3秒押す） → 除霜開始
パラメータの変更 （Pr1のみ）	SET+▼（3秒押す） → ▲ or ▼（℃が点滅／ﾊﾟﾗﾒｰﾀ選択） → SET → ▲ or ▼（設定値変更） → SET 設定終了後 SET+▲ 通常表示に戻る （15秒経過でも通常表示）
パラメータの変更 （Pr1+Pr2）	 Pr2へ入るには、 Pr2 SET 後に ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ321を入力
キーボードのロック	▲ ＋ ▼ →（POF）が表示されキーボードロック （3秒押す）
キーボードのロック解除 （ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾛｯｸ中）	▲ ＋ ▼ →（Pon）が表示されキーボードロック （3秒押す）
マルチマスター 設定方法	▲（ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲに が表示されます。） （3秒押す） ディスプレイに(SEC)が表示されたら SET を押す。 ▲ or ▼（ﾊﾟﾗﾒｰﾀ選択） LOC ローカルディスプレイ ALL LANに接続している全てのｺﾝﾄﾛｰﾗ 1 Ad1のコントローラ n アドレスnのコントローラ 8 Ad8のコントローラ a)LAN接続の全てのｺﾝﾄﾛｰﾗに同じ設定を行う場合は ALLを選択し、SETを押します。その後ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ修正を行います。 b)Adr35のｺﾝﾄﾛｰﾗのみを設定する場合は SE35を表示させ、SETを押します。その後ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを修正します。 設定終了後はLOCを表示させてのアイコンを消して完了です。 ※ディスプレイにnodが表示された場合はLOCを表示させてSETを押してください。

※温度設定及びパラメータ変更は設定後時間経過でも記憶されます。

6. パラメータ

設定項目	パラメータ	レベル	最小値	最大値	工場出荷値	設定値
通常温度設定　SET3秒押す						
設定温度	SET		LS	US	2.0	
リアルタイムクロックRTC設定						
現在時刻の設定　X時	Hur	Pr 1	0	23	---	
現在時刻の設定　X分	Min	Pr 1	0	59	---	
現在の曜日　X曜日　Sun～Sat	dAY	Pr 1	Sun	Sat	---	
休日設定(1)　X曜日　Sun～Sat　nu=不使用	Hd1	Pr 1	Sun	nu	nu	
休日設定(2)　X曜日　Sun～Sat　nu=不使用	Hd2	Pr 1	Sun	nu	nu	
休日設定(3)　X曜日　Sun～Sat　nu=不使用	Hd3	Pr 1	Sun	nu	nu	
平日のナイトタイム制御開始時刻	iLE	Pr 1	0時	23.5時	0.0	
平日のナイトタイム制御終了時刻	dLE	Pr 1	0時	24時	0.0	
休日のナイトタイム制御開始時刻	iSE	Pr 1	0時	23.5時	0.0	
休日のナイトタイム制御終了時刻	dSE	Pr 1	0時	24時	0.0	
ﾅｲﾄﾀｲﾑ制御時 SET制御温度+設定値で制御	HES	Pr 1	−30℃	30℃	0.0	
平日の除霜開始時刻(1)　nu=不使用	Ld1	Pr 1	0時	nu	nu	
平日の除霜開始時刻(2)　nu=不使用	Ld2	Pr 1	0時	nu	nu	
平日の除霜開始時刻(3)　nu=不使用	Ld3	Pr 1	0時	nu	nu	
平日の除霜開始時刻(4)　nu=不使用	Ld4	Pr 1	0時	nu	nu	
平日の除霜開始時刻(5)　nu=不使用	Ld5	Pr 1	0時	nu	nu	
平日の除霜開始時刻(6)　nu=不使用	Ld6	Pr 1	0時	nu	nu	
休日の除霜開始時刻(1)　nu=不使用	Sd1	Pr 1	0時	nu	nu	
休日の除霜開始時刻(2)　nu=不使用	Sd2	Pr 1	0時	nu	nu	
休日の除霜開始時刻(3)　nu=不使用	Sd3	Pr 1	0時	nu	nu	
休日の除霜開始時刻(4)　nu=不使用	Sd4	Pr 1	0時	nu	nu	
休日の除霜開始時刻(5)　nu=不使用	Sd5	Pr 1	0時	nu	nu	
休日の除霜開始時刻(6)　nu=不使用	Sd6	Pr 1	0時	nu	nu	
電子膨張弁EEU設定						
冷媒の種類 R22、134、404、407、410、507、CO2	FtY	Pr 1	22	CO2	404	
過熱度制御の設定値	SSH	Pr 1	0.1℃	25.5℃	8.0	
バルブのピリオド時間	CYP	Pr 1	1秒	15秒	6	
過熱度制御の比例帯(5℃以上に設定すること)	Pb	Pr 1	0.1℃	60.0℃	6.0	
バンドオフセット	rS	Pr 1	−12.0℃	12.0℃	0.0	
過熱度制御の積分時間	inC	Pr 1	0秒	255秒	120	
センサ異常時(N0.5･6ｾﾝｻ異常)のバルブ開度	PEO	Pr 1	0%	100%	50	
No.5･6ｾﾝｻ異常時設定時間後ﾊﾞﾙﾌﾞを全閉(0～239秒) onに設定の場合はPeo設定開度にて制御	PEd	Pr 1	0秒	240秒	240	
始動時バルブ開度	OPE	Pr 1	0%	100%	85	
始動時機能持続時間	SFd	Pr 1	0min	42.0min	1.3	
除霜後の運転開始時のバルブ開度	OPd	Pr 1	0%	100%	100	
OPd機能持続時間	Pdd	Pr 1	0min	42.0min	1.3	
通常運転時のバルブ最大開度	MnF	Pr 1	0%	100%	100	
冷却停止遅延時間	dCL	Pr 1	0秒	255秒	0	
強制バルブ開度 (0～100%)※通常nuに設定すること	Fot	Pr 1	0	nu	nu	
圧力センサのタイプ PP=4～20mAか1～5V入力、LAn=他ｺﾝﾄﾛｰﾗからのLAN入力	tPP	Pr 2	PP	LAn	PP	
4mA又は、0Vにおけるセンサ数値	PA4	Pr 2	−1	P20	−0.5	
20mA又は、5Vにおけるセンサ数値	P20	Pr 2	PA4	50.0	11.0	
制御の圧力下限値(PA4～P20設定値内)	LPL	Pr 2	−1.0bar	50.0bar	−0.5	
MOP低圧作動上限値設定(PA4～P20設定値内)	MOP	Pr 2	−1.0bar	50.0bar	11.0	
LOP低圧作動下限値設定(PA4～P20設定値内)	LOP	Pr 2	−1.0bar	50.0bar	−0.5	
デルタMOP−LOP(MOP、LOP時の弁開閉度%/ﾋﾟﾘｵﾄﾞ)	dML	Pr 1	0	100	30	
過熱度異常設定値(高過熱度)	MSH	Pr 2	LSH	80.0℃	60	
過熱度異常設定値(低過熱度)	LSH	Pr 2	0.0℃	MSH	2	
過熱度異常復帰ディファレンシャル	SHy	Pr 2	0.1℃	25.5℃	0.5	

過熱度異常出力遅延時間	SHd	Pr 1	0分	42分	3	
過熱度が設定値以下の場合積分時間は設定値で行う 0=通常のまま	FrC	Pr 2	0秒	100秒	0	
制御設定						
設定温度差 CrE=Y、の場合は庫内温度PI制御の比例帯	Hy	Pr 1	0.1℃	25.5℃	5.0	
室温制御の積分時間(CrE=Yの場合のみ)	int	Pr 1	0秒	255秒	150	
室温ﾓｼﾞｭﾚｰｼｮﾝ制御 n=標準制御(on/off)、Y=ﾓｼﾞｭﾚｰｼｮﾝ制御	CrE	Pr 1	n	Y	n	
最低設定可能温度の設定	LS	Pr 2	-55.0℃	(SET)	-30.0	
最高設定可能温度の設定	US	Pr 2	(SET)	150.0℃	20.0	
制御開始時の出力遅延時間	odS	Pr 1	0min	255min	O	
圧縮機最低停止/最低運転時間	AC	Pr 1	0min	60min	O	
ﾓｼﾞｭﾚｰｼｮﾝ制御時の圧縮機強制運転時間	CCt	Pr 2	0.0時間	24.0時間	0.0	
ﾓｼﾞｭﾚｰｼｮﾝ制御時の設定温度	CCS	Pr 2	-55.0℃	150.0℃	2.0	
センサ故障時の強制運転時間	Con	Pr 2	0分	255分	15	
センサ故障時の強制停止時間	CoF	Pr 2	0分	255分	30	
ディスプレイ設定						
温度の単位 (℃/° F) ℃に設定願います	CF	Pr 2	℃	° F	℃	
圧力モード rE=ゲージ圧力、Ab=絶対圧力	PrU	Pr 2	rE	Ab	rE	
圧力測定単位設定 bAr、PSI、Mpa	PMU	Pr 2	bAr	MPA	bAr	
圧力の表示 tEM=温度、PrE=圧力	PMd	Pr 2	tEM	PrE	PrE	
ディスプレイの温度表示 in=整数、dE=小数点	rES	Pr 2	dE	in	dE	
ディスプレイの温度センサ nP=なし、P1=No.1センサ、P2=No.2センサ、P3=No.3センサ P4=No.4センサ、P5=No.5センサ、P6=No.6センサ tEr=rPE設定温度、dEF=dPE設定温度	Lod	Pr 2	nP	dEF	tEr	
X-REP(外部ﾃｨｽﾌﾟﾚｲ)の表示 オプション nP=なし、P1=No.1センサ、P2=No.2センサ、P3=No.3センサ P4=No.4センサ、P5=No.5センサ、P6=No.6センサ tEr=rPE設定温度、dEF=dPE設定温度	rEd	Pr 2	nP	dEF	tEr	
ディスプレイ温度表示遅延時間	dLY	Pr 1	0.0min	24.0min	0.0	
rPE設定温度用温度ｾﾝｻA nP=なし、P1=No.1センサ P2=No.2センサ、P3=No.3センサ、P4=No.4センサ、P5=No.6センサ	rPA	Pr 1	nP	P5	P1	
rPE設定温度用温度ｾﾝｻB nP=なし、P1=No.1センサ P2=No.2センサ、P3=No.3センサ、P4=No.4センサ、P5=No.6センサ	rPb	Pr 1	nP	P5	nP	
室温制御センサの割合(100%=A、0%=B)	rPE	Pr 1	0%	100%	100	
除霜設定						
除霜センサA nP=なし、P1=No.1センサ P2=No.2センサ、P3=No.3センサ、P4=No.4センサ、P5=No.6センサ	dPA	Pr 1	nP	P5	P2	
除霜センサB nP=なし、P1=No.1センサ P2=No.2センサ、P3=No.3センサ、P4=No.4センサ、P5=No.6センサ	dPb	Pr 1	nP	P5	nP	
除霜制御センサの割合(100%=A、0%=B)	dPE	Pr 1	0%	100%	100	
除霜の種類 EL=電気ヒータ in=ホットガス	tdF	Pr 1	EL	in	EL	
除霜周期 rtc=ﾘｱﾙﾀｲﾑｸﾛｯｸ in=時間周期	EdF	Pr 1	rtc	in	in	
tdF=ELのとき除霜ｾﾝｻで温度を制御(必ず設定要)	Srt	Pr 1	-55.0℃	150℃	150	
Srt制御ディファレンシャル	Hyr	Pr 1	0.1℃	25.5℃	2.0	
dtE、dtS設定温度にならなくてもSrtが設定温度に達した場合、設定時間で除霜終了	tod	Pr 1	0min	255min	255	
除霜開始の温度差(ｾﾝｻA-ｾﾝｻB≦設定値)	dtP	Pr 1	0.1℃	25.5℃	0.1	
温度差で除霜する場合の除霜開始遅延時間 0=不使用	ddP	Pr 1	0min	60min	60	
除霜ｾﾝｻA･B両方で除霜終了を行う	d2P	Pr 1	n	Y	n	
除霜終了温度(除霜センサA)	dtE	Pr 1	-55.0℃	50.0℃	8.0	
除霜終了温度(除霜センサB)	dtS	Pr 1	-55.0℃	50.0℃	8.0	
除霜周期	idF	Pr 1	0時間	120時間	6	
最大除霜時間	MdF	Pr 1	0min	255min	45	
除霜開始遅延時間	dSd	Pr 1	0min	255min	0	
除霜時ディスプレイの表示 rt=Lod温度 it=除霜開始時温度、Set=設定温度、dEF="dEF"表示	dFd	Pr 1	rt	dEF	rt	

除霜終了後ディスプレイ表示保持時間	dAd	Pr 1	0min	255min	30	
水切時間	Fdt	Pr 1	0min	255min	0	
制御開始時に除霜を行う n=Idf設定時間後、Y=行う	dPo	Pr 1	n	Y	n	
モジュレーション制御後の除霜遅延時間	dAF	Pr 1	0時間	24.0時間	0.0	
送風機設定						
送風機センサA nP=なし、P1=No.1センサ P2=No.2センサ、P3=No.3センサ、P4=No.4センサ、P5=No.6センサ	FPA	Pr 1	nP	P5	P2	
送風機センサB nP=なし、P1=No.1センサ P2=No.2センサ、P3=No.3センサ、P4=No.4センサ、P5=No.6センサ	FPb	Pr 1	nP	P5	nP	
送風機制御センサの割合(100%=A、0%=B)	FPE	Pr 1	0	100	100	
送風機運転設定 C-n=圧縮機連動で除霜時停止 O-n=常時運転で除霜中停止 C-y=圧縮機連動で除霜も運転 O-Y=常時運転で除霜時も運転	FnC	Pr 1	C-n	O-y	O-n	
除霜後の送風機遅延時間(水切時間より長く設定のこと)	Fnd	Pr 1	0分	255分	10	
送風機強制運転の設定温度差 (蒸発器センサと庫内温度センサの差)	FCt	Pr 2	0℃	50℃	10	
送風機停止温度(送風機センサ設定温度以上で停止)	FSt	Pr 1	-55.0℃	50.0℃	10.0	
送風機再始動のディファレンシャル	FHy	Pr 1	0.1℃	25.5℃	1.0	
除霜後の送風機強制運転時間(圧縮機停止時)	Fod	Pr 1	0分	255分	0	
送風機運転時間(圧縮機停止時)	Fon	Pr 1	0分	15分	0	
送風機停止時間(圧縮機停止時)	FoF	Pr 1	0分	15分	0	
アナログ出力設定						
アナログ出力用制御の種類 UAL=出力はSOA値による rEG=出力は送風機制御 AC=防露ヒータ制御(XWEB5000システムを必要とする)	trA	Pr 2	UAL	AC	UAL	
送風機の一定速 trA=UALの時	SOA	Pr 2	AMi	AMA	0	
露点温度設定	SdP	Pr 2	-55.0℃	50.0℃	30.0	
送風機ディファレンシャル/防露ヒータオフセット	ASr	Pr 2	-25.5℃	25.5℃	1.0	
アナログ出力の比例帯	PbA	Pr 2	0.1℃	25.5℃	5.0	
アナログ出力の最小出力	AMi	Pr 2	0	AMA	0	
アナログ出力の最大出力	AMA	Pr 2	AMi	100	100	
送風機の最速運転時間(秒)/ 防露制御時のリレー運転時間(分)	AMt	Pr 2	0	60	10	
警報設定						
温度警報用センサ nP=なし、P1=No.1センサ、P2=No.2センサ、P3=No.3センサ P4=No.4センサ、P5=No.5センサ、tEr=tEr	rAL	Pr 1	nP	tEr	P1	
温度警報基準 rE=温度差 設定温度+(ALU設定値)or-(ALL設定値) Ab=絶対温度 (ALU設定温度orALL設定温度)	ALC	Pr 1	rE	Ab	rE	
高温警報設定温度	ALU	Pr 1	ALL	150.0℃	10.0	
低温異常設定温度	ALL	Pr 1	-55.0℃	ALU	-30.0	
温度警報ディファレンシャル	AHY	Pr 1	0.1℃	25.5℃	1.0	
温度異常出力遅延時間	ALd	Pr 1	0min	255min	15	
高温警報設定(除霜センサ)	dLU	Pr 2	dLL	150.0℃	50.0	
低温警報設定(除霜センサ)	dLL	Pr 2	-55.0℃	dLU	-50.0	
温度警報ディファレンシャル(除霜センサ)	dAH	Pr 2	0.1℃	25.5℃	1.0	
温度警報遅延(除霜センサ)	ddA	Pr 2	0min	255min	15	
高温警報設定(送風機センサ)	FLU	Pr 2	FLL	150.0℃	150	
低温警報設定(送風機センサ)	FLL	Pr 2	-55.0℃	FLU	-50.0	
温度警報ディファレンシャル(送風機センサ)	FAH	Pr 2	0.1℃	25.5℃	1.0	
温度警報遅延(送風機センサ)	FAd	Pr 2	0min	255min	15	
始動時温度警報遅延	dAo	Pr 1	0時間	24.0時間	1.3	
除霜後の警報遅延	EdA	Pr 1	0min	255min	20	
扉開後の温度警報出力無効時間	dot	Pr 1	0min	255min	20	
制御停止周期 nu=停止なし	Sti	Pr 2	nu	24.0時間	nu	

制御停止周期による一時停止時間	Std	Pr 2	1分	255分	5	
補助リレー設定						
AUXリレー出力制御 CPr=圧縮機、dEF=除霜、FAn=送風機、Alr=警報、LiG=照明 AUS=補助、db=(SET-HY制御(CrE=Yでは非適応)) OnF=ON/OFF機能	OA6	Pr 2	CPr	OnF	AUX	
アナログ出力設定						
アナログ出力制御 CPr=圧縮機、dEF=除霜、FAn=送風機、Alr=警報、LiG=照明 AUS=補助、db=(SET-HY制御(CrE=Yでは非適応))	OA7	Pr 2	CPr	OnF	ALr	
ｱﾅﾛｸﾞ出力設定 CUr=4～20mA電流出力、tEn=0～10V電圧出力、	CoM	Pr 2	CUr	tEn	CUr	
警報出力リレー出力　cL=A接点、oP=B接点	AOP	Pr 1	OP	CL	CL	
コントローラON/OFF時の補助出力 n=コントローラのスイッチを切ると補助出力もスイッチが切れる Y=補助出力状態は、ON/OFF状態に関連しない	iAU	Pr 1	n	Y	n	
外部入力設定						
D.I.1入力設定　cL=A接点、oP=B接点	i1P	Pr 1	oP	cL	cL	
D.I.1入力接点の設定 EAL=外部異常、bAL=重大外部異常、PAL=圧力ｽｲｯﾁ実行 dor=扉開、dEF=除霜開始、AUS=補助ﾘﾚｰ出力、LiG=照明ﾘﾚｰ出力 OnF=ｺﾝﾄﾛｰﾗのOFF、Htr=冷却から加熱制御へ変更 FHU=未使用、ES=ナイトタイム制御、Hdy=休日設定制御	i1F	Pr 1	EAL	Hdy	dor	
D.I.1異常入力出力遅延 i1F=PAL:圧力スイッチ異常入力回数計測時間 i1F=EAL,bAL:警報出力遅延時間 i1F=dor:扉開異常出力遅延時間	d1d	Pr 1	0分	255分	15	
D.I.2入力設定　cL=A接点、oP=B接点	i2P	Pr 1	oP	cL	cL	
D.I.2入力接点の設定 EAL=外部異常、bAL=重大外部異常、PAL=圧力ｽｲｯﾁ実行 dor=扉開、dEF=除霜開始、AUS=補助ﾘﾚｰ出力、LiG=照明ﾘﾚｰ出力 OnF=ｺﾝﾄﾛｰﾗのOFF、Htr=冷却から加熱制御へ変更 FHU=未使用、ES=ナイトタイム制御、Hdy=休日設定制御	i2F	Pr 1	EAL	Hdy	LiG	
D.I.2異常入力出力遅延 i2F=PAL:圧力スイッチ異常入力回数計測時間 i2F=EAL,bAL:警報出力遅延時間 i2F=dor:扉開異常出力遅延時間	d2d	Pr 1	0分	255分	5	
D.I.3入力設定　cL=A接点、oP=B接点	i3P	Pr 1	oP	cL	cL	
D.I.3入力接点の設定 EAL=外部異常、bAL=重大外部異常、PAL=圧力ｽｲｯﾁ実行 dor=扉開、dEF=除霜開始、AUS=補助ﾘﾚｰ出力、LiG=照明ﾘﾚｰ出力 OnF=ｺﾝﾄﾛｰﾗのOFF、Htr=冷却から加熱制御へ変更 FHU=未使用、ES=ナイトタイム制御、Hdy=休日設定制御	i3F	Pr 1	EAL	Hdy	ES	
D.I.3異常入力出力遅延 i3F=PAL:圧力スイッチ異常入力回数計測時間 i3F=EAL,bAL:警報出力遅延時間 i3F=dor:扉開異常出力遅延時間	d3d	Pr 1	0分	255分	0	
PAL:圧力異常の入力回数	nPS	Pr 1	0回	15回	15	
dor:扉開入力時の制御設定 no=通常制御、Fan=送風機停止、CPr=圧縮機停止 F_C=圧縮機と送風機停止	OdC	Pr 1	no	F-C	F-C	
扉開異常出力後の出力開始遅延時間	rrd	Pr 1	0分	255分	15	
ナイトタイム制御設定						
RTCにて制御を行う	cbP	Pr 1	n	Y	Y	
ナイトタイム用センサの選定 nP=なし、P1=No.1センサ、P2=No.2センサ、P3=No.3センサ P4=No.4センサ、P5=No.6センサ、tEr=tEr	ESP	Pr 1	nP	tEr	P1	
ナイトタイム制御中の設定温度(SET+HES)	HES	Pr 1	-30.0℃	30.0℃	0.0	
照明リレーoff時にナイトタイム制御を行う	PEL	Pr 1	n	Y	n	

LAN管理								
除霜開始同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LMd	Pr 2	n	Y	Y			
除霜終了同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	dEM	Pr 2	n	Y	Y			
設定温度同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LSP	Pr 2	n	Y	n			
表示同調(LAN経由で温度送信) 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LdS	Pr 2	n	Y	n			
ON/OFF同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LOF	Pr 2	n	Y	n			
照明の同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LLi	Pr 2	n	Y	Y			
AUX補助出力の同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LAU	Pr 2	n	Y	n			
ナイトタイム制御の同調 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	LES	Pr 2	n	Y	n			
X-REPセンサ表示 ﾏｽﾀｰｺﾝﾄﾛｰﾗの温度を表示の場合Y	LSd	Pr 2	n	Y	n			
圧力センサをLAN出力する場合Y(ﾏｽﾀｰのみY)	LPP	Pr 2	n	Y	Y			
LANからの冷却開始で圧縮機ﾘﾚｰを出力する場合Y 同調させる場合、ﾏｽﾀｰ ｽﾚｰﾌﾞ共Y	StM	Pr 2	n	Y	n			
センサ設定								
No.1センサの設定 nP=なし、PtC=PTC、ntc=NTC、PtM=Pt1000	P1C	Pr 2	nP	PtM	ntc			
No.1センサの補正	Ot	Pr 2	-12.0℃	12.0℃	0.0			
No.2センサの設定 nP=なし、PtC=PTC、ntc=NTC、PtM=Pt1000	P2C	Pr 2	nP	PtM	ntc			
No.2センサの補正	OE	Pr 2	-12.0℃	12.0℃	0.0			
No.3センサの設定 nP=なし、PtC=PTC、ntc=NTC、PtM=Pt1000	P3C	Pr 2	nP	PtM	nP			
No.3センサの補正	o3	Pr 2	-12.0℃	12.0℃	0.0			
No.4センサの設定 nP=なし、PtC=PTC、ntc=NTC、PtM=Pt1000 LAN入力	P4C	Pr 2	nP	LAN	nP			
No.4センサの補正	o4	Pr 2	-12.0℃	12.0℃	0.0			
No.5センサの設定 nP=なし、PtC=PTC、ntc=NTC、PtM=Pt1000 420=4～20mA、5Vr=0～5V(LAN入力の場合nPを選択)	P5C	Pr 2	nP	5Vr	420			
No.5センサの補正	o5	Pr 2	-12.0℃	12.0℃	0.0			
No.6センサの設定 nP=なし、PtC=PTC、ntc=NTC、PtM=Pt1000	P6C	Pr 2	nP	PtM	PtM			
No.6センサの補正	o6	Pr 2	-12.0℃	12.0℃	0.0			
サービス								
冷却時間割合	CLt	Pr 1	---	---	---	確認のみ		
次回除霜までの時間	tMd	Pr 1	---	---	---	確認のみ		
LAN上のデバイス数	LSn	Pr 1	1	8	---	確認のみ		
LANデバイスのアドレスリスト	LAn	Pr 1	1	247	---	確認のみ		
Modbusアドレス 1～244	Adr	Pr 1	1	247	1			
ファームウエアバージョン	rEL	Pr 1	---	---	2.0	確認のみ		
パラメータ表	Ptb	Pr 1	---	---	---	確認のみ		
Pr2へのアクセス	Pr2	Pr 1	---	---	---	確認のみ		

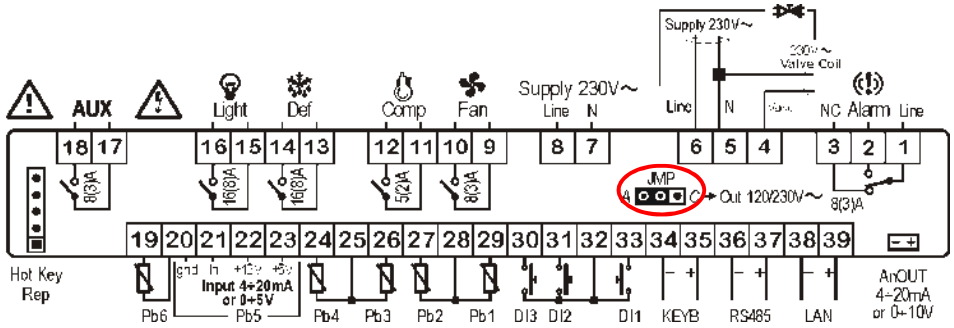
7. 異常の表示について

表示	内容	制御(原因)	説明
キーボード			
nod	CX660なし	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞが作動していない	SECﾒﾆｭｰよりLOCを選択
PON	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞ有効		
POF	ｷｰﾎﾞｰﾄﾞﾛｯｸ		
rst	警報リセット	警報出力停止	
noP,nP,nA	存在しない		
センサ類異常			
P1	No.1センサ異常	(Con)(COF)による圧縮機運転時間制御	
P2	No.2センサ異常	除霜終了を時間制御	
P3	No.3センサ異常	通常制御	
P4	No.4センサ異常	通常制御	
P5	No.5センサ異常	通常制御	
P6	No.6センサ異常	通常制御	
PPF	LAN入力圧力異常	LAN異常、圧力範囲異常	
CPF	LAN入力No.4ｾﾝｻ異常	LAN異常	
温度異常			
HA	高温異常	通常制御	
LA	低温異常	通常制御	
HAd	高温異常(除霜ｾﾝｻ)	通常制御	
LAd	低温異常(除霜ｾﾝｻ)	通常制御	
HAf	高温異常(送風機ｾﾝｻ)	通常制御	
LAf	低温異常(送風機ｾﾝｻ)	通常制御	
外部入力異常			
dA	扉開異常	(rrd)(odc)設定による制御	
EA	外部異常	通常制御	
CA	重大外部異常	制御停止	
PAL	圧力異常	全出力停止	再始動は再電源投入が必要
電子膨張弁異常			
LOP	最低作動圧力に到達	dMLによる制御	
MOP	最高作動圧力に到達	dMLによる制御	
LSH	低過熱度異常	電子膨張弁閉	
MSH	高過熱度異常	通常制御	
クロック異常			
rtc	ﾘｱﾙﾀｲﾑｸﾛｯｸ警報 (時刻設定等されていないとき)	通常制御 除霜開始は周期に変更 警報出力	
rtF	ﾘｱﾙﾀｲﾑｸﾛｯｸ基盤異常 (要修理)	除霜開始は周期に変更 警報出力	
その他異常			
StP	Sti、Stdによる停止	圧縮機停止	
EE	EEPROM異常	制御停止	
Err	ｱﾌﾟｳﾛｰﾄﾞ,ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｴﾗｰ		再試行
End	ｱﾌﾟｳﾛｰﾄﾞ,ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ完了		

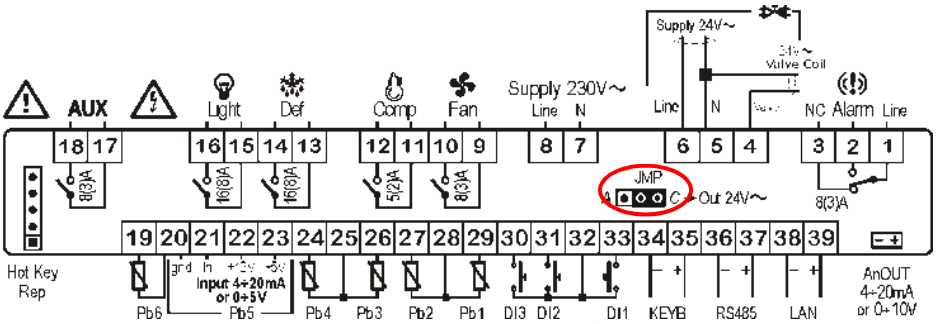
センサアラーム: “P1” (センサ1異常)、“P2”, “P3”, “P4”, “P5”, “P6”; センサが正常作動を再開すると10秒後に自動的にアラームは停止します。センサを交換する場合は接続をチェックのこと。温度アラーム“HA”, “LA”, “HAd”, “LAd”, “HAF”, “LAF” は、サーモスタットセンサが正常値に戻り次第、又は、除霜が始まり次第、自動的に停止。外部アラームの“EAL”, “BAL” は、外部デジタル入力が無効になり次第、停止します

8. 電気配線

・AKV電子膨張弁AC200Vを使用する場合



・AKV電子膨張弁AC24Vを使用する場合



注: ジャンパー(JMPと表示)は、ケース内に。24Vacのバルブを駆動させるときはこのジャンパーを閉にします。

XM679K とケーブルの接続用にスクリュー型端子ブロックが同梱されています。ケーブルは、切断面積が1.6 mm2までの低電圧接続用(RS485、LAN、センサ、デジタル入力、キーボード)です。他の入力、電源、リレー接続はファストンタイプ接続(5.0 mm)です。耐熱性のケーブルを使用します。ケーブル接続前に電源がコントローラの仕様に合致しているか確認して下さい。センサケーブルは、電源ケーブル、出力や電源接続部から離してください。各リレーに許容される電流を超えないで下さい。大容量負荷に際しては、適切な外部リレーを使用ください。注 全ての機器に許容される最大電流は16Aです。

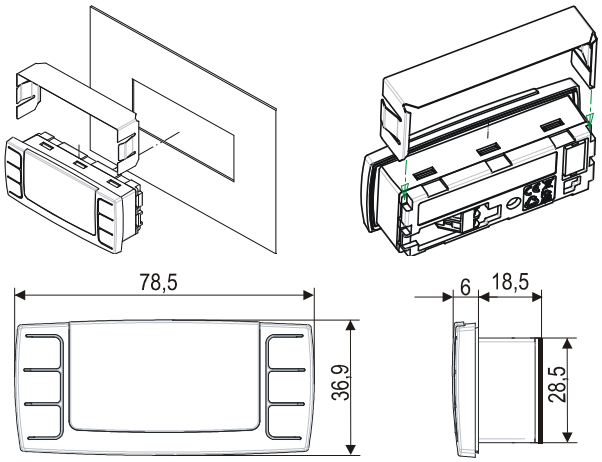
(電子膨張弁コイルの選定　danfoss)
・電源供給24Va.cの場合
　018F6827(24Va.c 50/60Hz)

・電源供給200Va.cの場合
　018F6732(230Va.c 50/60Hz)
　018F6193(230Va.c 50/60Hz)
　　但し、AKV10-7及びAKV20以上では
　　ご使用になれません。
　　メーカーの取扱説明書を参照願います。

9. X－REPとの接続

X-REPとの接続には専用の
コネクタが別途必要です。

10. コントローラの取付方法



取付に必要な開口寸法は縦:29㎜×横:71㎜です。
同梱のブラケットにてパネル面と固定いたします。
コントローラの正常制御可能温度範囲は0～60℃です。
過剰な振動、腐食性ガスが発生する場所、結露が発生する環境でのご使用はお控えください。
コントローラ横面から本体を冷却できるよう塞がないよう取付をお願いいたします。

11. ホットキーの使い方

・設定情報のアップロード

コントローラ電源onの状態で
ホットキーを挿入

→ 押す → ″uPL″がディスプレイに表示
続いて″End″が点滅します。

SET を押し″End″点滅を停止させます。

電源を切り、ホットキーを取り出します。
再度電源を投入します。

(ｱｯﾌﾟﾛｰﾄﾞ失敗の時は″Err″が表示されます。
再試行の場合は、※から再度やり直してください。)

・設定情報のダウンロード

コントローラ電源offの状態で
ホットキーを挿入し、電源を投入
(　⏻ボタンでoffにする。)

→ 自動的にダウンロードが開始され
″doL″がディスプレイに点滅表示
続いて″End″が点滅します。
10秒後ホットキーを取り出します。

(ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ失敗の時は″Err″が表示されます。
再試行の場合は、最初から再度やり直してください。)

12. オプション品

名称		説明	注文番号
ホットキー		設定のコピーキー	HOTKEY
X－REP		外部表示器	X-REP-00000
X-REP接続ｹｰﾌﾞﾙ		X-REP接続ｹｰﾌﾞﾙ 1.5m	CAB51F
		X-REP接続ｹｰﾌﾞﾙ 2.0m	CAB52F
		X-REP接続ｹｰﾌﾞﾙ 5.0m	CAB55F
ガスケット		パネル取付時の密閉用	RG-C
NTCセンサ		シリコンケーブル防水型 NTCｾﾝｻ(φ6-30mmL=1.5m) 使用範囲:-40℃～110℃ 感温部はステンレス	NS6S
PTCセンサ		シリコンケーブル防水型 PTCｾﾝｻ(φ6-40mmL=1.5m) 使用範囲:-50℃～120℃ 感温部はステンレス	S6.S-15(1.5m)
Pt1000Ωセンサ		プラスチック防水型 Pt1000Ωｾﾝｻ(φ5-20mmL=1.5m) 使用範囲:-50℃～110℃ 感温部はステンレス	PMG5P-15(1.5m)
Pt1000Ωセンサ		配管用センサ Pt1000Ωｾﾝｻ (φ4～φ30管に取付L=1.5m) 使用範囲:-50℃～110℃	PMP4-67-15(1.5m)
圧力センサ		-0.5～7bar(4～20mA出力)8～28Vdc 接続サイズ7/16-20UNF/配線ｹｰﾌﾞﾙ付	PP07
		-0.5～11bar(4～20mA出力)8～28Vdc 接続サイズ7/16-20UNF/配線ｹｰﾌﾞﾙ付	PP11
ｱﾅﾛｸﾞ出力ｹｰﾌﾞﾙ		ｱﾅﾛｸﾞ出力ｺﾈｸﾀ付きｹｰﾌﾞﾙL=1.5m	CAB/CJ15
		ｱﾅﾛｸﾞ出力ｺﾈｸﾀ付きｹｰﾌﾞﾙL=3.0m	CAB/CJ30

13. 注文方法

XM679K- | A | B | C | D | E |

A	B	C				D	E		
電源	センサタイプ		RTC	RS485	ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ	単位		外部出力	コネクション
0=12Vac/dc	N=NTC	0			8 DIN Rail	C=℃/bar	0	No	Discon+ネジ
2=24Vac	P=Pt1000Ω	1		○	8 DIN Rail		1	No	ネジ
4=110Vac		2	○		8 DIN Rail		2	4÷20mA/0÷10V	Discon+ネジ
5=230Vac		3	○	○	8 DIN Rail		3	4÷20mA/0÷10V	ネジ

CX660-000N0	キーボード
CX660-100N0	キーボド(ﾌﾞｻﾞｰ付き)

※蒸発圧力入力は4～20mAかLAN専用となります。

（注文可能商品）
XM679K-5P3C1
CX660-000N0
CX660-100N0

14. 技術データ

CX600キーボード

ハウジング: 自己消化性ABS樹脂
ケース: 前面:35×77mm 奥行き:18mm
取付:: 29×71mmのパネル切抜き部に挿入
保護クラス: IP20
全面保護: IP65
供給電源: XM679Kパワーモジュール経由
ディスプレイ: 3桁、赤色LED、高さ14.2mm
オプションの出力: ブザー

パワーモジュール

ケース: 8 DIN 140×110×47㎜
接続:: スクリュー端子ブロック ≦1.6mm^2 耐熱性ケーブルと5.0mmのファストン
供給電源: 24Vac,230Vac±10%
消費電力: 9VA max
入力: NTC/PTC/Pt1000センサ
デジタル入力: 無電圧入力3カ所
リレー出力 :電磁弁 SPST 5A, 250Vac
:除霜 SPDT 16A, 250Vac
:送風機 SPST 8A, 250Vac
:照明 SPST 16A, 250Vac
:警報 SPDT 8A, 250Vac
:補助 SPST 8A, 250Vac
バルブ出力: 30Wmax
シリアル出力: RS485 with ModBUS-RTU and LAN
データ保存: 不揮発性メモリ (EEPROM)
アクションの種類: 1B
汚染グレード: ノーマル
ソフトウェアクラス A
作動温度: 0～60℃
保管時温度: -25～60℃
相対湿度: 20～85% (結露しないこと)
測定と制御範囲
:NTCセンサ -40～110℃
:PTCセンサ -50～150℃
:Pt1000センサ -100～100℃
分解能: 0.1 ℃又は、1℃ (選択可)
精度（周囲温度 25℃）: ±0.5℃

日本エマソン取扱店

MS-tec 株式会社 エムエステック

〒104-0043　東京都中央区湊1丁目8番15号
TEL:03-3523-1601/FAX:03-3523-1608
〒550-0003　大阪市西区京町堀1丁目8番5号
TEL:06-6447-0295/FAX:06-6447-0306

日本エマソン株式会社
コープランド事業部　電話:045-475-6371　FAX:045-475-3565
フローコントロールズ事業部　電話:045-475-3670　FAX:045-475-3565
http://www.emerson.co.jp/

製品改良のため、予告なしに仕様、構造などの変更を行う事がありますのであらかじめご了承願います。 また、このカタログに記載された内容の無断転載はかたくお断りいたします。

Dixell S.r.l.
32010 Pieve d'Alpago (BL) ITALY - Z.I. Via dell'Industria, 27
Tel. +39.0437.9833 r.a. - Fax +39.0437.989313 - www.dixell.com - dixell@dixell.com

2011.01.28